



平成27年度国立市のお金は このように使われました (一般会計の主な事業と経費)

平成27年度決算のポイント

- ①平成25年度、26年度に引き続き、臨時財政対策債(借金)の借入れを行いませんでした。
- ②市税等収納率は、納税者の皆さまのご理解、ご協力および担当職員の努力により、平成26年度を0.4ポイント上回る99.3%となり、引き続き多摩26市中1位の結果となりました。
- ③経常収支比率(*)は、健全化取組の効果などにより、前年度比で5.5ポイント改善され、90.3%となりました。

平成27年度の決算がまとまりましたので、お知らせします。詳細は、市ホームページ「決算概況」(<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/soshiki/Dept01/Div02/Sec02/gyomu/0404/1461065942265.html>)をご覧ください。
問い合わせ 政策経営課財政係

平成27年度に実施した主な事業と成果

国立市民のいのちと健康を守る

- 小・中学校の耐震化対策工事のために 2億1,361万円
- 街路灯省電力化のために 4,526万円

国立の子育て・子育てに責任を持つ

- 認可保育園開設に対する補助のために 1億1,109万円
- 子ども医療費助成の拡充のために 296万円

国立のまちの景観と賑わいをつくる

- 国立駅周辺整備のために 21億3,803万円
- JR谷保駅バリアフリー化のために 3,944万円

法やルールを守り、赤字市政からの脱却を図る

- 公共施設白書の更新のために 402万円
- 事務事業評価委員会の運営のために 27万円

平成27年度 健全化の取組

効果額総額 1億5,127万円

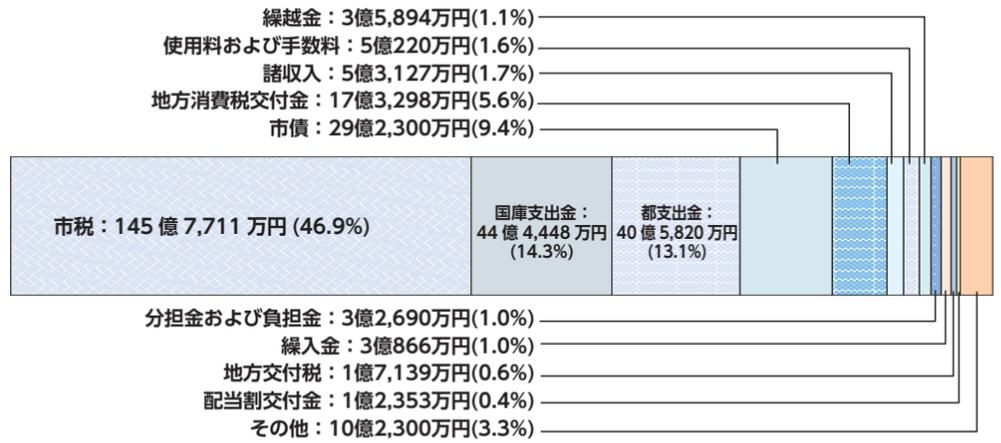
歳入の主な取組

- 市税等の収納率の向上 5,139万円
- 国民健康保険税収納率の向上 2,333万円

歳出の主な取組

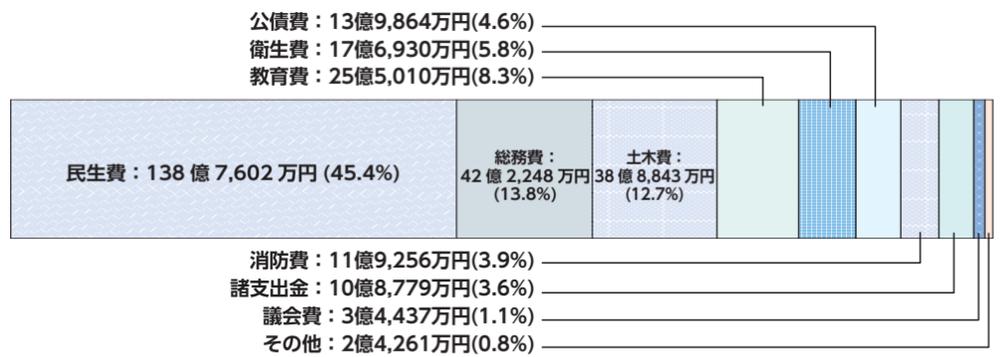
- 国民健康保険医療費適正化事業に伴う医療費の削減 878万円
- 給与の見直し(部長職給与、扶養手当の見直し等) 821万円
- ゲートボール普及・育成事業の見直し 465万円
- デイホーム事業の見直し 420万円

歳入 310億8,166万円

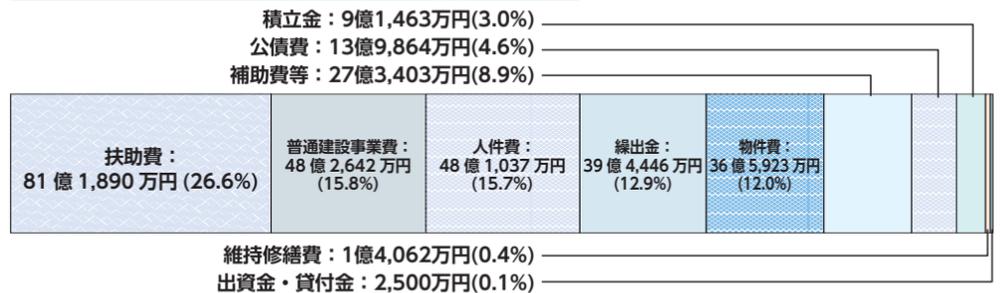


※地方消費税率の改定に伴う地方消費税交付金の増分(8億2,998万円)は、社会保障施策に要する経費(85億4,651万円)に充てました。

歳出(目的別) 305億7,230万円



歳出(性質別) 305億7,230万円

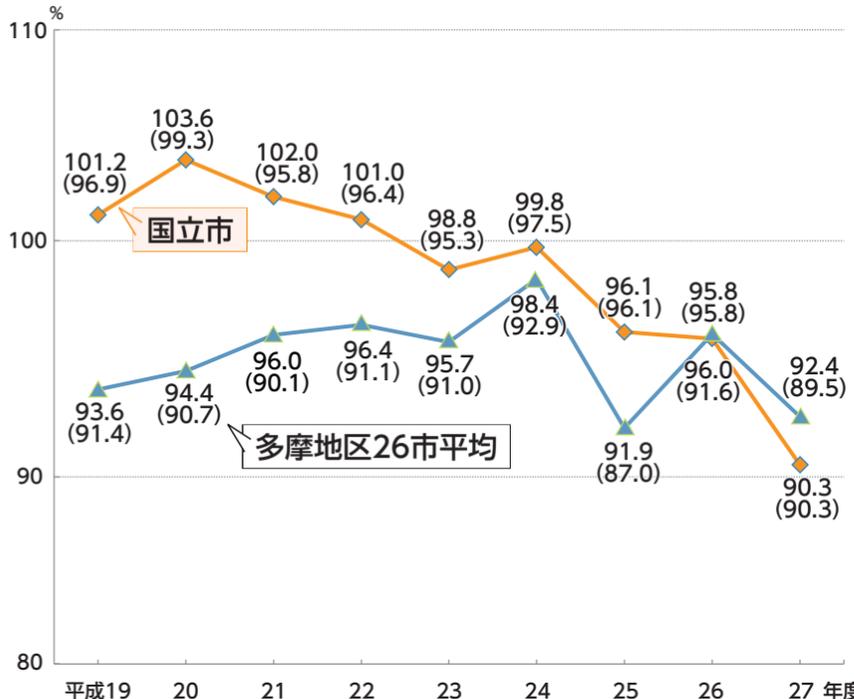


(※)経常収支比率

経常収支比率とは、市税など毎年経常的に入る収入(経常一般財源等)で、どれだけ経常的な支出(人件費、公債費、扶助費等)を賄うことができたのかを示す割合であり、財政の弾力性を計る指標になります。経常収支が100%を超えるということは、経常的な支出を経常的な収入で賄っていない状態です。家庭に例えるなら、毎月の生活費が月給を上回り、臨時収入(借金)や貯金の取り崩しにより不足を補っている状況といえます。

経営努力の結果、数値は減少傾向ですが、依然として高い数値のまま推移しています。

〈経常収支比率の推移〉



※()内の数字は、分母に減収補てん債(特例分)および臨時財政対策債を加えた算式で計算したものです。

平成27年度の市長交際費について報告します

■平成27年度市長交際費決算額 53万6,536円

ご案内いただいた外部団体や地域の行事への参加費等として、取扱基準に基づき、101回支出しました。

毎月の支出状況は、市役所1階情報公開コーナー、公民館(中1-15-1)、中央図書館(富士見台2-34)、北市民プラザ(北3-1-1 9号棟)、南市民プラザ(泉2-3-2 1号棟)および市ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ 市長室秘書担当